

評価結果概要表

【評価実施概要】

作成日 平成20年11月24日

事業所番号	2779500475	評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
法人名	社会福祉法人 野のはな	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
事業所名	グループホーム 野のはな	評価調査日	平成 20 年 11 月 20 日
所在地	大阪府阪南市和泉鳥取950番7 電話 072-471-8880	評価確定日	平成 20 年 12 月 4 日

【情報提供票より】(平成20年10月31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年4月1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数 9人
職員数	14人 常勤 3人 非常勤 11人 常勤換算 4, 2人

(2) 建物概要

建物の構造	鉄骨 3階建ての(3階部分)
-------	-------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000円	その他の経費(月額)	60,000円	
敷金	無	償却	有	
保証金の有無 (入居一時金を含む)	有 300,000円	返金	1年以内20万円 2年以内10万円 2年以上以降なし	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,500円			

(4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	0名	要介護2	1名		
要介護3	4名	要介護4	1名		
要介護5	3名	要支援2	0名		
年齢	平均 83才	最低	69才	最高	95才

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	中村クリニック 大阪リハビリテーション病院 まさと歯科
---------	--------------------------------

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

介護職の半数の5名が開設以来の職員で、安定した温かな介護が行われている。建物内の1階にデイサービス、3階がグループホームとなっていて、浴室は3階と地階にあり、地階にある普通の浴槽と機械浴槽は、デイサービスと共用している。食事は職員の栄養士が地元産の新鮮な食材、有機野菜等を取り入れた献立をホーム内で調理して提供し、利用者に喜ばれている

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	ホームの理念は開設以来、引続き毎日の介護で実践されており、管理者が今年3月に交代となったが、従来通りの業務を実施している。今後については運営推進会議の開催を始め、地元との交流に期待したい。利用者の日常生活での観察、聞き取り記録等は、従来通り実行しているので、今後は介護記録の累積を、チームワークで活用する取り組みを期待したい
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	介護はベテラン職員によって毎日暖かく行われているが、自己評価票は管理者が初めてのことであり、取り組みに不十分な点があった。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議の開催準備までは出来ていたが、今年度はまだ開催されていない。管理者の出席予定者へのご挨拶もこれからの課題となっている
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	来訪されたご家族に対して職員は、対話を行うように努めている、アンケートの集計結果によると、利用者の介護やホームでの生活については、安心していただいている
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	母体法人が地域に密着した生活共同体であるので、地域との連携は従来と変わらないが、管理者が新任のため、地元の各組織・グループ等の方々との交流はこれからの課題となっている

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設以来 ホームの理念は「いつの日も、自分らしく生き生きと」を掲げている		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は発足以来のホームの理念に沿った介護に取り組み、利用者に安心と満足を頂いている		
2 地域との支えあい					
	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	管理者が3月に交代したが、業務の引き継ぎと日常業務が多忙のために、地域活動までには至っていない。今後に期待したい	○	地元の各組織、グループの役員さんと日常のご挨拶を交わせるようにして欲しい
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義については管理者、職員は十分理解している		
	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	昨年までは開催できていたが、今年度は管理者交代のため、まだ開催までには至っていない。関係者へのご挨拶も、まだ出来ていないので、早く対処できるよう期待したい	○	地域包括センターと連携して、2ヶ月毎の開催となるよう努力して欲しい
	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市役所担当課との接触は行われている		
4 理念を実践するための体制					
	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	「野のはな だより」を発行し郵送して知らせている。来訪時には担当職員が対応している		
	15	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年2回、食事会を開催し、話し合いの場となるようにしている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9 18	○ 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設以来の職員の半数5名が勤務しているため、職員の離職、移動等には殆ど影響はないように対処している。新入職員にはマニュアルに従って見習いから始めている	○	職員のストレス解消のためにも、職員との対話、交流には配慮して欲しい

5 人材の育成と支援

	10 19	○ 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は年間計画に従って内外の研修を実施している		
	11 20	○ 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている	市当局による地域事業者会には出席している。しかし、各事業者との交流はまだ出来ていない	○	市の、ご担当者とも相談して、市内の事業者との懇談会の開催を検討して欲しい

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12 26	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	職員が利用問い合わせのお宅を訪問して、本人、ご家族との会話から始めている		
--	-------	--	--------------------------------------	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13 27	○ 本人と共に過ごし、支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者と担当職員は対話を大切にして、過去の生活の思い出から把握し、介護に生かすよう全員で対処している		
--	-------	--	--	--	--

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14 33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	担当職員は利用者の意向の把握に努めている		
--	-------	---	----------------------	--	--

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15 36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	各職員が把握した一人ひとりの言動を、カンファレンスで確認しあって、計画作成に生かしている	○	利用者の生きた記録の蓄積があるのでセンター方式等を参考として、記録を活用するために、研修会等の開催があれば参加することから始めて欲しい
--	-------	--	--	---	---

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	毎日の引継ぎで、利用者に変化があれば直ぐに連絡しているので、見直しの準備ができています。ご家族、医師、職員との協議も実施し、新計画の作成を行っている		
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事業所の機能を活かして、本人、ご家族への支援を行っている		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	利用者全員が、ホームが契約した医師の、月2回の往診を受けている		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者、ご家族と日頃から重度化、終末看取りについて、話し合いを重ねて方針を決め、情報の共有を図っている		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員に情報管理、プライバシー保護を指導している	○	法人内に個人情報管理の組織があれば参加して、尊厳性の尊重も含めて研修し、向上を図って欲しい
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースに合わせるよう配慮している		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員の栄養士によって地元の新鮮な食材を用いた献立で提供されている。手伝いは出来る方にやっていただいている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		出来るだけ希望に沿った入浴をしてもらっている。5名の方は機械浴となっている

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		洗濯物の片付け、食事の手伝い等、個々の能力に合わせて、してもらっている
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		適宜に、希望により散歩をしている

(4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		1階玄関の鍵掛けは、していない
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		緊急時のマニュアルは用意している、年に2回、消防署員と訓練を実施している

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		栄養士による献立で食事を提供している、摂取量のチェックも出来ている
--	----	----	---	--	-----------------------------------

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		清掃は、出来る方と職員とによって行われている。共用室は季節感を取り入れた配慮をしている
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		個室は各自と、ご家族が配慮した家財道具等が持ち込まれている